

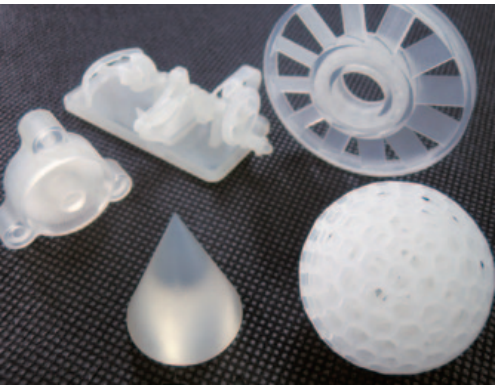
3Dプリンターの販売取扱い開始! 法人個人・国内外問わず、 時代に即した提案型営業

インタコンポ

エレクトロニクスの専門
商社インタコンポ(渋谷区渋谷、中原健太郎社長、03・3406・1696)では、創業45年を迎え、新たに3Dプリンター(米国 3D SYSTEMS社)の取扱いを開始した。

3D CADで設計したデータを元に、立体物を造形する3Dプリンターの誕生は、ものづくりの現場に革命を起こした。製造業で、試作品の製作をより早く、低コストで行うことが可能になり、また、3Dスキャナーを併用すれば、個人でもフィギュアやスマートフォンのカバーなどを簡単に製作できるようになった。

同社では、教育やホビークースで手軽に使えるパーソナルタイプのCUBEシリーズ(本体価格16万円〜)から、精密試作用、高精度プロフェッショナルタイプのPROJECT3500SD/H D(本体価格936万円〜)まで幅広い機器



PROJECT3500にて造型した製品



展示会の様子

を扱っている。

同社にとって生産設備の販売営業は初めての試みだったが、「既存アイテムだけに頼らず、国際競争が激化する中、新しい時代に合った提案型営業を進めることが、商社の生きる道だと考えています」と中原社長は強調する。現在、得意先の民生機器、医療機器、事務機器、産業機器などの多数のメーカーに対して、3Dプリンターの革命的な優位性をPRしている。

なお、中国(香港、上海、深圳)、シンガポール、タイに海外現地法人があり、将来、アジア地区への販売も視野に入れ、日々取組んでいる。詳しい情報は、ホームページ <http://www.intercompo.co.jp> または問合せ窓口: 03・3498・0073、担当: 鈴木まで。